

(別紙様式2)

2019年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：新潟県
農業委員会名：見附市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和2年3月31日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	2,480.00	217.00	217.00			2,697.00
経営耕地面積	2,169.00	103.00	93.00	10.00		2,272.00
遊休農地面積	0.83	0.23	0.23			1.06
農地台帳面積	2,456.67	323.29	315.19	8.10		2,779.96

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	1,185
自給的農家数	308
販売農家数	877
主業農家数	91
準主業農家数	231
副業的農家数	555

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	1,265
女性	628
40代以下	76

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	260
基本構想水準到達者	54
認定新規就農者	1
農業参入法人	0
集落営農経営	3
特定農業団体	0
集落営農組織	3

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	計	
農業委員数							0	0
認定農業者							0	0
女性							0	0
40代以下							0	0

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 2 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	12	12
認定農業者	—	10
認定農業者に準ずる者	—	0
女性	—	2
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	12	12	6

* 現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	2,697.00 ha	1,687.19 ha	62.56 %
課 題	離農者農地を速やかに担い手へ集積する必要がある。 小区画、不整形な農地の集積を進める必要がある。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 2019年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②／①×100)
30.00 ha	20.80 ha	16.57 ha	69.33 %

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	6月 農地中間管理事業受け手募集を広報により周知 10月 リーフレットを活用し、農地中間管理事業による利用権設定等の制度を周知 10月～12月 農地銀行各支店を窓口として、農地流動化推進員による掘り起こし活動を実施 通年 市農林創生課、JAとの連携強化及び農地情報の共有化を図る。
活動実績	6月 農地中間管理事業受け手募集の広報による周知 8月～10月 農地パトロール時に遊休農地所有者に対し、農地中間管理事業の制度を周知 10月～2月 農地銀行各支店を窓口として、農地流動化推進員による掘り起こし活動を実施 11月 人・農地プランの意見交換会を開催 1月 委員による地域会合でのリーフレット活用による農地中間管理事業の周知 通年 認定農業者への農地利用調整・あっせん活動

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	集積しやすい農地が一段落したため、目標達成には至らなかった。集積の動向は鈍化してきている。
活動に対する評価	目標には達しなかったが、地域での制度周知及び権利設定の調整などに取り組んだ。農地中間管理事業に関する周知は広がってきている。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	2017 年度新規参入者数	2018 年度新規参入者数	2019 年度新規参入者数
	1 経営体	0 経営体	1 経営体
	2017年度新規参入者が取得した農地面積	2018年度新規参入者が取得した農地面積	2019年度新規参入者が取得した農地面積
	0.54 ha	0.00 ha	1.86 ha
課 題	組織化にあたり、リーダーとなる人材が必要である。 農業が青年等の職業選択肢になり得る必要がある。 農村集落を維持する必要がある。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和元年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況 (②／①×100)
1.00 経営体	1.00 経営体	100.00 %
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況 (④／③×100)
0.30 ha	1.86 ha	620.00 %

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	新規就農の情報提供に努める。 年間を通じて関係団体と連携を図り、就農相談から農地の利用権設定まで支援する。 新規就農希望者に対して、農地中間管理機構等による農地のあっせんを行う。
活動実績	7月より法人設立の相談に対し地区委員及び農林創生課と連携を図り、適宜助言を行った。また、利用権設定に関し、総会審議前に新規参入者から直接経営計画、地域からの支援などを聞き取るなどして、新規参入を後押しした。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	今年度は目標の1経営体の参入を達成できた。
活動に対する評価	事前相談や関係課との連携など、新規参入者に対し利用権設定が円滑に進むよう取り組んだ。

Ⅳ 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	2,697.00 ha	1.06 ha	0.039 %
課 題	離農者農地を速やかに担い手へ集積する必要がある。 中山間地において遊休化が進行する傾向が強い。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和元年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
0.25 ha	0.41 ha	155.00 %

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)		調査実施時期		調査結果取りまとめ時期		
	農地の利用状況調査	24 人		7 月～ 10 月		7 月～ 12 月		
		調査方法	1.管内全域を調査区域として巡回調査を一斉に実施する。 2.調査区域を6地区に分け、担当の農業委員を定めて調査を実施する。 3.遊休化している場合は、該当農地等の状況をさらに詳しく確認し、写真を撮り、調査表に記録する。 4.周囲の農地に悪影響を及ぼさないよう改善指導する。 5.貸付希望のある場合は、農地中間管理事業に誘導する。					
		農地の利用意向調査	調査実施時期： 10 月～ 12 月					
	その他の活動							
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)		調査実施時期		調査結果取りまとめ時期		
		24 人		7 月～ 10 月		7 月～ 12 月		
	農地の利用意向調査	調査実施時期	11 月～ 12 月		調査結果取りまとめ時期		11 月～ 3 月	
		第32条第1項第1号		第32条第1項第2号		第33条		
		調査数： 27 筆		調査数： 筆		調査数： 筆		
		調査面積： 1.06 ha		調査面積： ha		調査面積： ha		
	その他の活動							

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標以上の0.41haの改善が図られた。
活動に対する評価	農業委員及び農地利用最適化推進委員の是正指導で目標以上の遊休農地解消が図られた。しかし、一部改善されない遊休農地が残ったり新たに発生した農地があった。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	2,697.00 ha	0.00 ha
課 題	広報による周知と継続的な監視が必要である。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 2019年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.00 ha	0.00 ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	違反転用・不法投棄は、農地の確保・有効利用を図る上での課題となっている。また、土地計画法上の手続きのみで農地法上の手続きがなされないケースもあるので、農地パトロールによる重点的な監視活動を実施する。
活動実績	7月～10月 担当地区別に農業委員及び農地利用最適化推進委員による農地パトロールによる監視活動を実施した。
活動に対する評価	農業委員による働きかけにより違反転用が無かった。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

Ⅵ 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数 17 件、うち許可 17 件及び不許可 0 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請書及び添付資料等に基づき確認している。現地調査は、地区の農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局で実施している。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	関係法令・審査基準に基づき議案ごとに審議している。			
	是正措置				
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	17 件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0 件		
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録を調整の上、市ホームページで公表している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 25 日	処理期間(平均)	25 日
	是正措置				

2 農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）

(1年間の処理件数: 8 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請書及び添付資料等に基づき確認している。事実確認については、地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員、事務局で現地調査を実施している。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	許可基準に基づき、転用事業内容・立地状況等により総合的に判断している。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録を調整の上、市ホームページで公表している。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 25 日	処理期間(平均)	25 日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	10 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	9 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	0 法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	0 法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	0 法人
	提出しなかった理由	
	対応方針	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	0 法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 974 件 公表時期 令和 2 年 3 月
		情報の提供方法: 農業委員会だより、市のホームページで公表している。
	是正措置	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 3,455 件 取りまとめ時期 令和 2 年 3 月
		情報の提供方法: 一部議事録に記載し、市のホームページで公表している。
	是正措置	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 2,779.96 ha
		データ更新: 月 1～2回更新
		公表: 個人情報を除いた農地台帳情報を全国農地ナビシステムで公表している。
	是正措置	

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 なし 〈対処内容〉
農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 なし 〈対処内容〉

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

VIII 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数

0 件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している